

# CERESPO



## CORPORATE REPORT 2016

セレスポ コーポレート レポート



<http://www.cerespo.co.jp/>





©Satoshi TAKASAKI/JTU

©にっぽんど真ん中祭り

セレスポの目指す姿

# イベント・ソリューション・パートナー

お客さまに寄り添い、課題を共有し、解決に向けて全力で取り組みます。

人の心に働きかけ、人の心に響き、人の心が動く。

そんなイベントを多く仕掛けていく、手掛けていくことを目指しています。



## CONTENTS

1	トップメッセージ	03
2	セレスポの軌跡	05
3	セレスポの1年	07
4	セレスポの事業	09
	・セレモニー部門	
	・スポーツ部門	
	・フェスティバル部門	
	・プロモーション部門	
	・コンベンション部門	
	・その他事業部門	
5	特集	17
6	人材創造	19
7	エシカル・アプローチ	21
8	スポーツ振興	23
9	コーポレート・ガバナンス	25
10	決算ハイライト	27
11	会社情報	29



# 「セレスポの幸福」の 経営理念のもと、 持続的な成長が可能な 企業を目指します

代表取締役社長 **稲葉 利彦**

略歴			
1976年	慶應義塾大学 経済学部卒業	2007年	株式会社伊勢丹 退社
1976年	株式会社伊勢丹 入社		株式会社セレスポ 入社
2000年	婦人服飾雑貨部 商品担当部長	2008年	株式会社セレスポ 代表取締役社長 就任
2001年	天津伊勢丹有限公司 総経理 就任	2012年	(一社)日本イベント産業振興協会 理事
2004年	天津日本人会 会長	2013年	(一社)日本経済団体連合会 オリンピック・パラリンピック等推進委員会 委員

## お客さま満足度向上により増収増益

2016年3月期の業績は、おかげさまで5期連続での増収増益となりました。その要因としては、まずここ数年、お客さまの満足度が向上していることが挙げられます。2016年3月期のお客さまアンケートでの満足度は99%を超え、それにもとない継続してご発注いただけるお客さまの案件が増加しました。

また、スポーツ分野において、陸上競技やトライアスロンなど大きな競技大会の運営実績で当社の知名度が上がり、新規顧客の開拓が進んだことも要因の一つです。ニュースなどで当社のロゴが露出する機会が増えたことや、メディアなどで2020年イベントと関連して取り上げられたことが影響していると思います。

さらに、人材育成の面では、外部から積極的に講師を招き、集中的に企画力と営業力を強化してきました。これらの要因が総合的に作用し、全社的な受注率が上がったことが好業績につながっています。

## 中期経営計画で目指すこと

前述の成果は、全て2010年3月期より実施している中

期経営計画の成果です。この中期経営計画では、「イベントのあらゆる段階においてお客さまに寄り添い、課題を解決する」ことを目指しています。そこで大切なのが「顧客起点」と「現場力」です。「顧客起点」は、お客さまの立場になって課題を見だし、ソリューションを提案することです。「現場力」は、現場で多少のことであっても目的を達成するマネジメント力のことです。これらの実践により、近年のお客さま満足度の向上につながっていると考えています。

当社の全ての活動の根本にあるのは「セレスポの幸福」と呼ばれる経営理念です。各ステークホルダーの幸福と、社会との交流を強く意識したもので、2008年に導入しました。中期経営計画においても、いたるところでこの社会との交流が意識されています。それが好業績の要因として挙げた成果へとつながっているわけです。

## これからのイベント業界

今から2021年までは、スポーツが大きなビジネスチャンスとなるでしょう。その間に、ラグビーワールドカップ(2019)、東京オリンピック・パラリンピック(2020)、関西ワールドマスターズゲームズ(2021)が開催されます。す

## セレスポの幸福マンダラ



にプレ大会などの準備・打合せは始まっています。今後は、開催地やキャンプ地などで「地方創生」もからめた関連イベントも増えてくると思います。

また、スポーツ以外のイベントにおいても先の明るい分野があります。今ではほとんどのことがインターネットで済むようになりましたが、逆にそういう時代だからこそ、「時」と「場所」と「気持ち」を共有するリアルな体験が見直されています。サッカーの代表戦で渋谷がにぎわうのもその一例です。人の心に作用する触媒としてのリアルなイベントの将来はきわめて有望だと考えています。

## セレスポの今後の戦略

2019年から2021年までの「ゴールデン・スポーツイヤーズ」が当社の大きな飛躍につながることは間違いありません。経団連オリンピック・パラリンピック等推進委員会での活動、東京都スポーツ推進企業の認定に続き、2016年4月には、日本体育協会の最高位のスポンサーとなりました。各競技団体との協力関係を強化し、ますます活動の枠を広げていきます。

また、会社としての本質的な強みも戦略的に確立していきます。「顧客起点」と「現場力」に加えて、今後は「サステ

ナビリティ」と「ユニバーサル」にも注力します。イベントにおけるサステナビリティを定めた国際規格であるISO20121は東京オリンピック・パラリンピックでも適用が計画されていますが、当社は現在、イベント制作会社として、日本初の認定を得るべく準備を進めています。

ユニバーサル・イベントとは、障がいのある方もない方も、ともに楽しめるイベントを意味します。これらのエシカル・アプローチ(倫理的な取り組み)は、国際的なイベントには必ず求められるものであり、当社も今後の大型案件において実践することが決まっています。こういう実践の積み重ねが、将来的に差別化の武器になっていくと考えています。

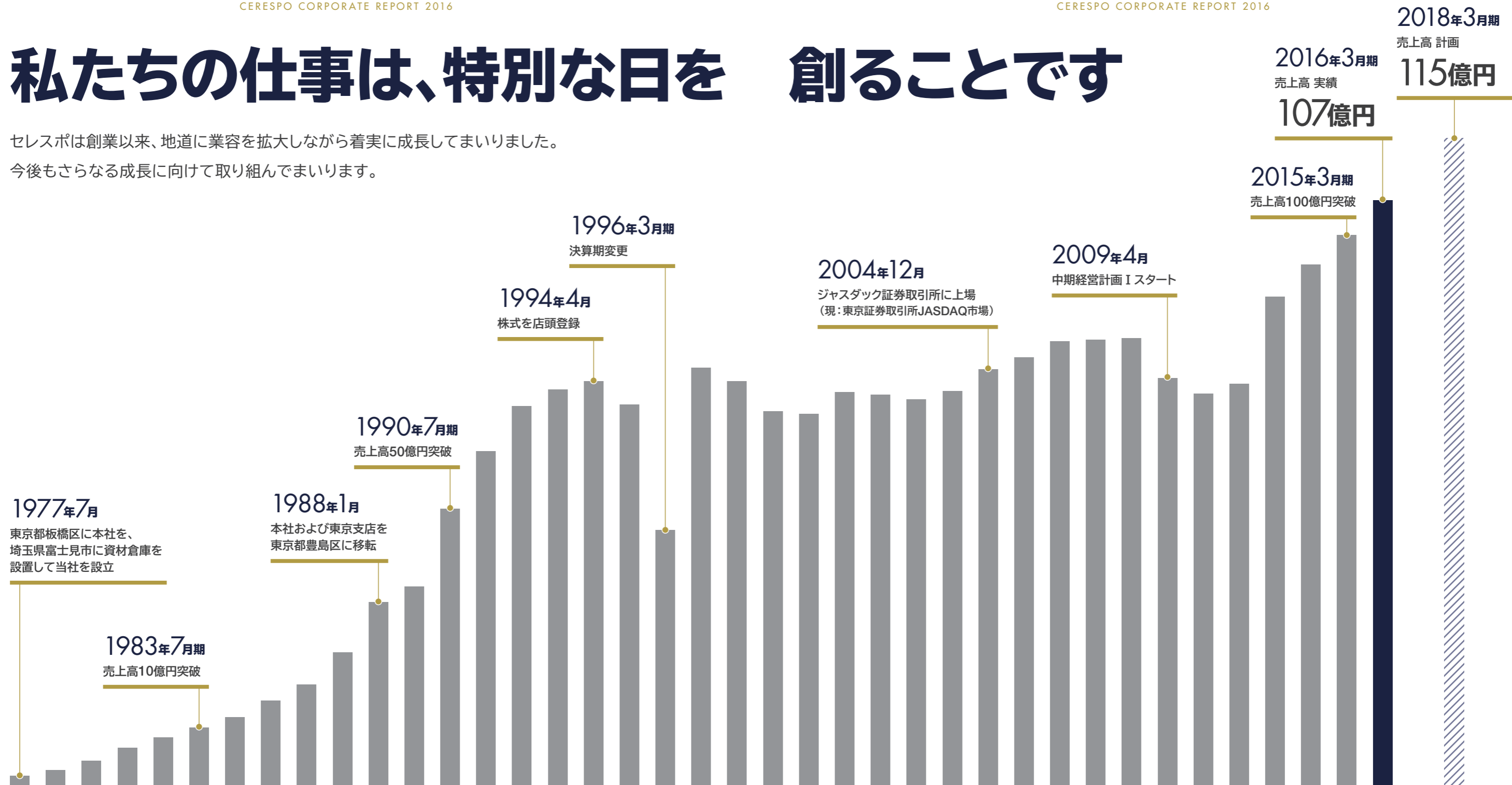
今から2021年にかけては、

- 1: 最大の収益を実現する
- 2: 優良顧客とのつながりを確立する
- 3: 強みを磨く

の3つが目標となります。さらに究極的な狙いは、ゴールデン・スポーツイヤーズ以降も成長可能な企業となることですので、今後も「セレスポの幸福」の経営理念のもと、各施策に取り組んでいきます。

# 私たちの仕事は、特別な日を 創ることです

セレスポは創業以来、地道に業容を拡大しながら着実に成長してまいりました。  
今後もさらなる成長に向けて取り組んでまいります。



**1977年**

建設式典と運動会を軸に創業  
1977年7月21日

**1979年**

歌舞伎町まつり'79  
初めてのフェスティバル案件

**1993年~1998年**

長野五輪関連イベント  
安全祈願祭を含めさまざまなイベントを受注

**2005年**

愛・地球博  
数々のパビリオンの運営を受注

**2009年**

第93回日本陸上競技選手権大会  
日本最高峰の陸上競技大会を受注

**2015年**

新東名高速道路開通式  
日本の大動脈が繋がった記念式典

## セレスポの1年

2015年度は、サステナビリティ方針を定め、スポーツを通じた社会貢献活動にも取り組んでまいりました。



4月

(一社)日本パラ陸上競技連盟  
とオフィシャルパートナー  
契約締結、東京事務所開設



7月

岩手県スポーツクラブ  
3団体への寄付金贈呈



12月

「平成27年度  
東京都スポーツ推進企業」に認定



2月

セレスポ陸上クリニック開催



3月

豊島区  
ワーク・ライフ・バランス  
推進企業に認定



3月

東京都神社庁設立七十周年記念  
神社関係特別功績表彰にて  
感謝状を拝受

04 05 06 07 08 09 10 11 12 01 02 03

当社は1年を通じてさまざまなイベントを手掛けております。その規模・ジャンルは幅広く、一つ一つのイベントの成功に向けてお客さまと共に全力で取り組んでおります。



4月

入学式



8月

夏イベント



9月

防災訓練



10月

運動会



12月

カウントダウン



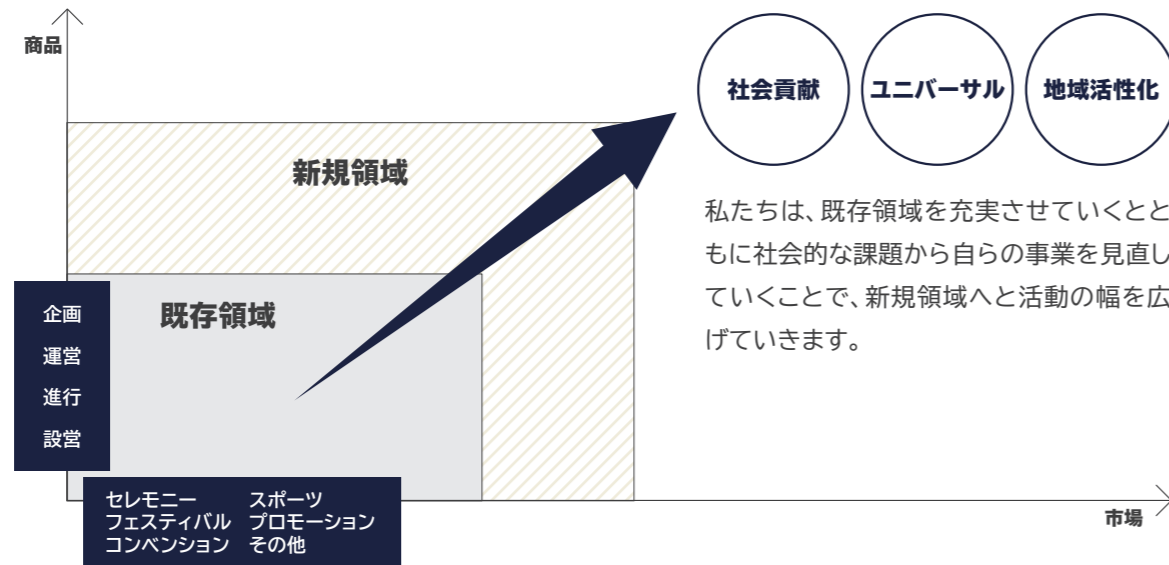
1月

出初式

## ビジネスモデル

セレスポは、豊富な実績・経験・ノウハウと全国に広がるネットワークを生かし、国や自治体が主催するような大規模なものから、皆さまの生活に密着したもので、多種多様なイベントを手掛けています。

セレスポは、顧客の期待や課題に応え、イベントに関わる人々の感動と笑顔を創ります。



私たちは、既存領域を充実させていくとともに社会的な課題から自らの事業を見直していくことで、新規領域へと活動の幅を広げていきます。

顧客の期待・課題



イベントの企画から運営まで  
ワンストップでサポート



イベントに関わる人々の  
感動と笑顔を創出



お客さまのご希望やイベント開催への想い、実施に向けた課題をお伺いします。



目的・予算に沿ってお客さまの想いを形にしたイベントをご提案いたします。



開催に向けて会場設計やデザインを通じてイベントを形にしていきます。



イベント当日に向けて会場の設営・造作から終了後の撤去まで全体的な会場管理を行います。



イベント開催中は進行や運営を行い、イベント終了までサポートいたします。

### 2016年3月期実績

年間にお手伝いした顧客数  
約 **3,700** 社

年間にお手伝いしたイベントの開催都道府県数  
全 **47** 都道府県

年間にお手伝いしたイベント数  
約 **1万3千** 件超

10年間継続して取引のある協力会社数  
約 **500** 社

10年間継続してお手伝いした顧客数  
約 **1,200** 社

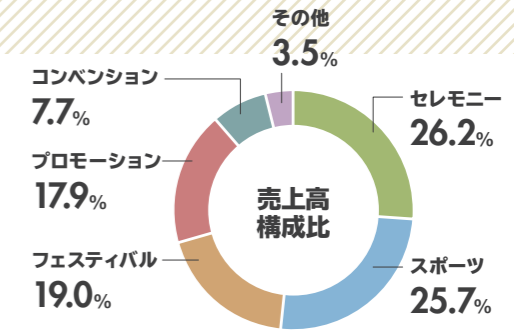
現場でのサービスに対するお客さまの声  
満足度 **99%**  
※ご回答いただいたアンケートより算出

## 特徴

セレスポは「イベントを通じて自らを含む周囲の幸福を実現し、笑顔のある明るい社会づくりに貢献する」ことを経営理念としています。この理念を実現するために、自社の特徴に磨きをかけています。

### 1. 幅広い事業ポートフォリオ

私たちが対応できるイベントは幅広く、厳粛なセレモニー、リハーサルのできないスポーツイベント、旬な演出が加わるプロモーションと多岐にわたります。また、当社のお客さまも官公庁、自治体と幅広く、その業種もさまざまです。これらの多様なイベントの経験を組み合わせることで、常に最良の提案をしていきます。



### 2. 全国に広がるネットワーク

私たちは全国にある拠点を生かし、持ち回りイベントから大型イベントまで幅広いイベントのお手伝いをさせていただいてきました。社員や資材を自由に動かす機動力、そして各地に協力会社のネットワークがある当社だからこそ、全国の皆さまにイベントをお届けできます。

全国 **26** 拠点  
(2016年3月期)

### 3. サステナビリティへの取り組み

当社は、サステナビリティに向き合い、ポジティブな影響をレガシーとして一つでも多く創りだせるようにイベント制作を考えています。この考えに基づき、高齢者や障がいのある方、あるいは小さな子供がいる家族など、誰もが参加でき、楽しむことのできるユニバーサルイベントを推進しています。





4  
セレスポの事業  
CERESPO CORPORATE REPORT 2016

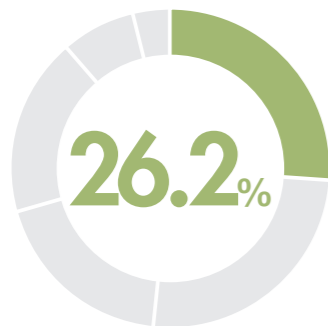


4  
セレスポの事業  
CERESPO CORPORATE REPORT 2016

## セレモニー部門 CEREMONY

主なイベント 建設式典、記念式典、行幸啓行事 など

売上高構成比



売上高

28億12百万円

(前期比12.3%減 ↓)

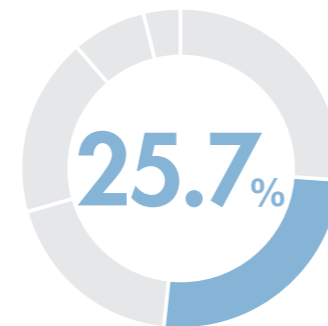
- 強み**
- 豊富な実績とノウハウによる提案力
  - 建設式典専用資材の保有
  - 安心・安全を重視した運営管理と進行力
  - 全国拠点網を生かした対応力
- 機会**
- 信頼と実績による新規紹介案件の増加
  - 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた各種競技場の建設およびインフラの整備

**当期の概況**  
地鎮祭・竣工式などの建設式典は概ね前期並み、周年記念式典などの需要の高まりにより売上を積上げましたが、大規模な案件の失注により売上高2,812百万円と前期比12.3%の減収となりました。

## スポーツ部門 SPORTS

主なイベント 競技大会、国民体育大会、インターハイ、市民参加型スポーツ大会、運動会 など

売上高構成比



売上高

27億57百万円

(前期比18.2%増 ↑)

- 強み**
- 国際大会などの実績とノウハウ
  - さまざまなスポーツ関連団体とのスポンサーシップ
  - ISO20121の認証を取得したイベントへの関与(2012世界トライアスロンシリーズ横浜大会)
  - 全国拠点網を生かした対応力
- 機会**
- ゴールデン・スポーツイヤーズに向けたスポーツ機運の高まり
  - スポーツツーリズムの増加
  - 生涯スポーツに対する社会的意識の醸成
  - チームビルディングの高まり

**当期の概況**  
日本陸上競技選手権大会、世界トライアスロンシリーズ横浜大会、紀の国わかやま国体の各種競技大会、各自治体主催のマラソン大会などの受注により売上高は2,757百万円と前期比18.2%の増収となりました。

当期に行ったイベント



第39回全国育樹祭

岐阜県谷汲緑地公園において、皇太子殿下ご臨席のもと開催され、式典には全国各地で緑化活動に取り組む方々やアトラクション出演者など約5,800人が参加しました。皇太子殿下によるお手入れのほか、緑化功労者の表彰や緑の少年団活動発表、苗木の贈呈等が行われました。当社は、式典の演出、舞台進行、運営、会場設営でお手伝えさせていただきました。



未広町まちびらき式

東日本大震災で大きな被害を受けた、岩手県大槌町の中心部では初となる「まちびらき式」が町方地区の北側にある未広町地区で地域住民など約200人が参加し行われました。当社は、まちびらき式の企画提案・設計・設営と当日の運営でお手伝えさせていただきました。

当期に行ったイベント



リオデジャネイロ・オリンピックハンドボール競技女子アジア予選 愛知・名古屋大会

2016年8月に行われるリオデジャネイロ・オリンピックに向けた熱い大会が名古屋にて5日間開催されました。当社は企画から運営までお手伝いさせていただくと同時に、この大会のスポンサーとしてもイベントをサポートさせていただきました。



2015 紀の国わかやま国体

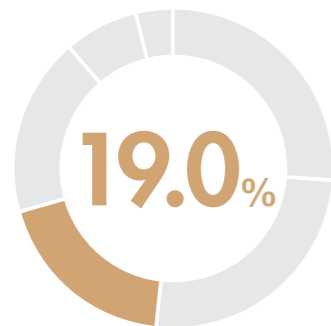
第70回目となる国体が紀の国わかやまで開催されました。当社では数多くの競技の設計および設営をお手伝えさせていただき、早いところからお客様と共にイベントの成功に向けて取り組んでまいりました。当社では専門部署を設置し、今後も国体事業を通じたスポーツ推進にも取り組んでまいります。



## フェスティバル部門 FESTIVAL

主なイベント 市民祭、産業祭、花火大会、文化イベント、大学祭、納涼祭 など

売上高構成比



売上高

20億44百万円

(前期比6.0%増↑)

強  
み

- 地域振興イベントの実績とノウハウ
- 全国拠点網を生かした対応力

機  
会

- 地方創生によるフェスティバルの増加  
(魅力発信および経済効果の創出)
- コミュニティの多様化に伴うイベントに対するニーズの高まり

当  
期  
の  
概  
況

官公庁主催の大規模な地域振興イベント、民間団体主催の各種フェスティバルなどの受注増加に伴い、売上高は2,044百万円と前期比6.0%の増収となりました。

当期に行ったイベント



チャレンジド・フェスティバル 2015

チャレンジド・フェスティバル2015が東京都千代田区の日比谷公園で開催され、当日は「障がいのある人となない人が一緒になって創る文化祭」をテーマにさまざまなプログラムが開催されました。当社は特別協賛としてもイベントをサポートさせていただきました。



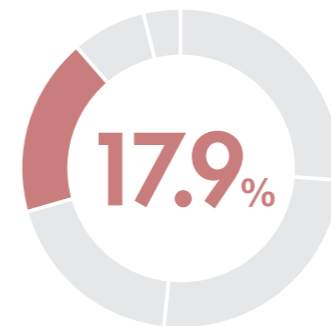
2015年 慶應連合三田会

慶應連合三田会大会とは、慶應連合三田会のサポートのもと、塾員有志が実行委員会を組織して毎年秋に慶應義塾大学日吉キャンパスで開催する、全ての慶應義塾の卒業生を対象とした大規模な同窓会です。年に一度卒業生が集うこのイベントで、当社は、会場設計から事務局業務まで幅広くお手伝いさせていただきました。

## プロモーション部門 PROMOTION

主なイベント 見本市・展示会、新商品発表会、PRイベント、展示即売会、プロモーションツール制作 など

売上高構成比



売上高

19億20百万円

(前期比0.1%増↑)

強  
み

- 専門部署 (SP・PRイベントオフィス) を保有
- 全国拠点網を活用したキャラバンイベントに対する対応力 (均一なクオリティとサービスの提供)
- 大型施設の指定会社としての実績とノウハウ
- 大型展示会の実績 (住宅総合展示会、各種フードフェアなど)

機  
会

- 消費喚起を狙ったプロモーション活動の増加
- 訪日外国人向けイベントの増加
- ネットとリアルとの融合を目指す動き

当  
期  
の  
概  
況

住宅メーカーの展示会、各種フードフェアやビール販促イベント、民間団体主催のセールスプロモーション案件など受注に努めたものの、売上高は1,920百万円と前期並みで推移いたしました。

当期に行ったイベント



LEXUS 10th Anniversary Party

LEXUS誕生10周年記念。ネットヨタ多摩様が、10年の間にオーナーとなられた方々へ対してアニバーサリーパーティーを開催することとなり、企画から当日の運営・設営までイベントをお手伝いさせていただきました。お客さま含めご来場者の皆さまが感動するイベントを実現するため、高いクオリティでのサービスを心がけました。



GOODYEAR展示ブース

トヨタ部品茨城共販株式会社様主催で2015年GOODYEARタイヤ・バッテリー年間販売優秀店舗表彰式が開催され、当社は表彰式会場内に設置されたGOODYEAR展示ブースのデザインおよび美術を担当いたしました。例年実施されているイベントですが、今年度は展示の規模も拡大し、GOODYEARのこれまでの歴史がわかる年表など装飾にもこだわった展示内容となりました。

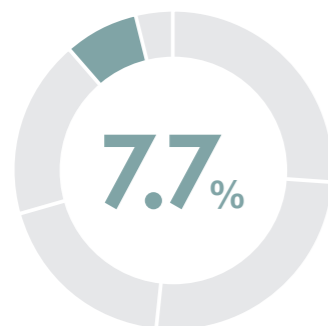




## コンベンション部門 CONVENTION

主なイベント 会議、学会、集会、シンポジウム、株主総会 など

売上高構成比



売上高

8億29百万円

(前期比26.6%増↑)

強  
み

- 全国拠点網を生かした対応力
- コンベンションイベントの実績とノウハウ
- 併催イベントとの強い連携体制
- 大学との多面的なつながり

機  
会

- シンポジウムの増加
- 地方創生に関わる会議イベントの増加
- 専門性重視に伴うアウトソーシングニーズの高まり
- 2020年に向けてMICE関連の案件が増加

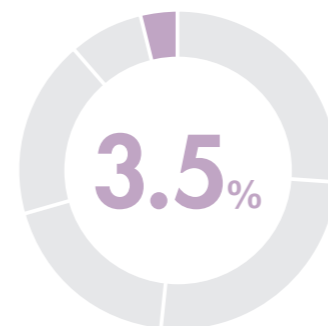
当  
期  
の  
概  
況

各種集会イベント、シンポジウム、全国一斉開催の国家試験、民間団体の株主総会などの受注が増加し、売上高は829百万円と前期比26.6%の増収となりました。

## その他事業部門 OTHER

主なイベント 防災訓練、指定管理者事業、選挙関連 など

売上高構成比



売上高

3億78百万円

(前期比19.2%増↑)

強  
み

- 防災訓練の実績とノウハウ
- 選挙関連の実績とノウハウ
- 全国拠点網を生かした対応力

機  
会

- 指定管理者委託契約に伴う各種イベントの取り組みの増加
- 防災意識の高まりによる防災訓練の増加
- 地域拠点網における新たな案件情報の入手

当  
期  
の  
概  
況

指定管理者の契約に伴い、その施設の各種イベント受注が増加、省庁主催の大規模防災訓練の受注、地方選挙開票所の設営業務委託等の受注などにより、売上高378百万円と前期比19.2%の増収になりました。

### 当期に行ったイベント



平成27年度 健やか親子21全国大会

この大会は全国から母子保健事業関係者が参加し、母子保健の諸問題についての研究討議により「健やか親子21」の推進を図るとともに、事業推進に功績のあった個人および団体を表彰し、我が国の母子保健事業および家族計画事業の一層の推進を図ることを目的に開催されました。当社は今後も全国持ち回りイベントでの経験とノウハウを生かし、お客さまのイベントをお手伝いしていきます。



自転車まちづくりシンポジウムinさいたま2015

さいたま市では、「人と環境にやさしい 安全で元気な自転車のまち さいたま」の実現に向けて、さまざまなイベントを行っており、9月19日(土)には「自転車と健幸」をテーマにしたトークショーおよびサイクリング走行会、「自転車まちづくりシンポジウムinさいたま2015」が開催されました。全国に拠点を持つ企業として、今後もイベントを通じて各地域のまちづくりをお手伝いしていきます。

### お客さまの声

セレスポではイベント制作において、「顧客起点」と「現場力」を大切にしております。ここでは実際にイベントをお手伝いしたお客さまからいただいた声をご紹介します。

#### 機転・対応力

当初計画からの変更に対しても臨機応変に対応いただき、ありがとうございました！

とても気が利いた対応で、来場者からも評判が良かったです。

かなりタイトなスケジュールでの依頼にも関わらず、終始細やかな対応をしていただき、素晴らしい一言でした。

#### マナー・教育

しっかりと挨拶ができていて、好感が持てました。

誰に対しても笑顔で対応いただき感謝しました。教育の徹底が伝わってきました。

きっちり掃除までしていただき、期待以上の対応でした！

#### パワー・体力

雨の中、臨機応変に対応いただきました。申し分ありません。今後ともよろしくお願いします。

時間がない中、迅速に撤収作業を完了いただき、ありがとうございました！

セレスポさんをお願いした方が作業が早いし綺麗なもので、また来年もお願いします。

#### 総合力

事前打ち合わせ、当日対応、進行サポート、片付けまで含め、いずれも丁寧な対応で助かりました。

来年はさらに効率的な大会運営を行うため、物品を増やすことを検討しています。来年以降もよろしくお願いします。

イベントの成功はセレスポさんあってのもので、ありがとうございます！

顧客起点の価値創造 — お客さまインタビュー／三越伊勢丹グループ共済会様 —

# 約20年ぶりに社内運動会 共通の話題ができ、社内の 風通しがより良好に

三越伊勢丹グループ共済会 事務局次長  
木暮 洋司 様

2015年8月25日、三越伊勢丹グループは統合後初めてとなる社内運動会を両国国技館で開催。セレスポはそのお手伝いをさせていただきました。開催準備や社内の様子はどうだったのでしょうか。今回は、三越伊勢丹グループ共済会の木暮洋司様にお話をうかがいました。

## 統合後初めての運動会

20年ほど前までは、三越も伊勢丹も運動会や野球大会など、さまざまなイベントを行っていました。しかし、時代の流れもあり、次第にそうした社員向けのイベントはなくなってきていました。そして、2010年に三越と伊勢丹が統合。5年経った今、人事異動などによって一体感は生まれてきたと思っていますが、一方で、所帯が大きくなった分、異なる店舗で働く社員と顔を合わせる機会がなくなってきていることも事実でした。しかし、最近になり現場の従業員、経営者側の双方の皆さまから「全社規模のイベントはやらないの?」「久しぶりに運動会もいいね」といった声がしばしば届くようになり、それをきっかけに社員同士の交流を図るという意味も込めて、「サマースポーツフェスティバル」の開催を決めたのです。

とはいえ、約20年ぶりの開催です。昔の資料も、もはや残っていません。何から手をつけたらいいのか、わからない状態でした。ただ、上司からは「前例もないのだから、思い切ってやってみろ」と言われ、吹っ切れました。

運動会の開催が決まったのが2月の終わり。各店の休業日などの関係もあって、開催は8月に決定。準備期間は、わずか半年です。これだけの短期間で、自分たちだけで計画から運営まで行うのは難しいだろうということになり、実績のあるセレスポさんにお手伝いいただくことにしました。

もっとも、運動会の参加者は百貨店の従業員。日々、「お客さまに満足していただくためにはどうしたらいいか」を

考えている人間ばかりです。その人たちを、満足させるためにはどうしたらいいのか。ハードルは高かったですね。

でも、セレスポの栗原さんは、「あれもやりたい」「こんなことにも挑戦してみたい」という私たちの想いをきちんと聞いてくださった上で、できることとできないことをはっきりおっしゃってくれたので、私たちも納得しながら先に進むことができました。種目についても、「リレーは盛り上がりやすい」「綱引きなどシンプルな種目はルールを細かく説明する必要がないので運営しやすいですよ」など、幹事側に立った具体的なアドバイスも、とても参考になりました。

社員とその家族を合わせると、参加者は3,500人にも及びます。その人数が収容でき、しかも天候や酷暑にも左右されない屋内という制約の中で、短期間で会場を探すのはとても大変だったのですが、それもセレスポさんが動いてくださったおかげで、無事、クリアすることができました。

「サマースポーツフェスティバル」の開催を発表した当初、社内の反応はさまざまでした。従業員が一齐に休める店舗休業日は年に数回しかありませんからね。「貴重な店舗休業日を社内行事でつぶされるのはちょっと…」という人も多いのではないかと、我々も懸念していました。



## 社内の変化

それが、蓋を開けたらびっくり。店舗対抗にし、また会社側からも開催告知や参加者募集などで多大なご協力をいただいたおかげで、運動会が近づくにつれて「それぞれの種目の具体的なルールを教えてください」「それぞれのチームカラーを教えてください」など、問い合わせが日ごとに増えてきました。

障害物競走では、百貨店らしく「四角い箱を包装する」という“関門”を設けたのですが、参加者を、店頭で接客する機会がなくなってしまった管理職などに限定したところ、事前に練習をされた方もいらしたと聞いております。当日は、揃いのチームカラーTシャツを着てくるチームもあって、本当に盛り上がりました。

上司も部下もなく、チーム一丸となって勝負するというところで、職場では見えなかった一面が垣間見られたりして、少なくともそれぞれのチームの風通しは良くなったように感じます。また、違う部署の人たちとも共通の話題ができたので、コミュニケーションも活発になったように思います。運営側としても、12人の実行委員および共済会スタッフ、そして労働組合のメンバーが成功という大きな目標にむかって一致団結できたことはすばらしい財産となりました。

## 次回開催に向けて

今年も8月に開催することが決まりました。店舗休業日の関係で昨年は参加できなかった2店舗も、今年は参加できますので人数も昨年よりグンと増えます。

人数が増え、従業員からの期待が高まる中、昨年の盛り上がりを超えるものにしていかなければならないというプレッシャーはあります。実際、「今年の運動会は去年と何が違うの?」などという質問を受けることもあり、我々も「一から仕切り直し」という気持ちで計画を立てている最中です。

もちろん、今年もセレスポさんにはお手伝いをお願いしているのですが、昨年の経験をお互いに共有していることもあり、先読みをしたアドバイスをいただいているので、とても助かっています。

セレスポさんも含め、三越伊勢丹グループが一体となって、今年の運動会も盛り上げていきたいですね。満足度がさらに上がるよう、しっかり計画・運営を行っていきたくと考えています。



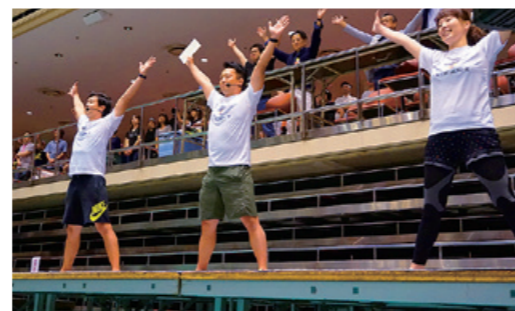
株式会社セレスポ東京支店 営業3課  
栗原 真柚子

## 一人でも多くの方に参加いただけるように

三越伊勢丹グループの皆さんは、そのお仕事柄もあり、ご自身たちからさまざまなアイデアを出してくださるので、お互いに意見を出し合いながら、種目や構成を考えていきました。

特に種目については、競技に参加する延べ人数が多くなるものを選びました。やっぱり運動会は、参加することで満足感・充実感が得られるものなのです。その他にも、幹事の皆さんの負担という側面から、細かくルールを説明する必要がなく、でも盛り上がる、綱引きのようなシンプルな種目の提案や、“三越伊勢丹らしさ”を出すべく障害物競走の中に日々のお仕事で行われている「包装」を取り入れるなどの提案もさせていただきました。

今年も開催が決まり、私たちもお手伝いさせていただくことになりました。昨年の盛り上がり一つの経験として、今年もまた、「やっぱり三越伊勢丹グループの運動会はすごいね」「去年よりレベルアップしたね」と言っていただけるようなものにしていきたいと思います。



## 人材の価値を高める取り組み

当社ではより高い「顧客起点」と「現場力」の実践に向けて、イベントの安全管理から次世代の人材育成までさまざまな研修を行っております。さらに、会社の財産でもある社員一人一人が働きやすい環境を整備することにも注力してまいりました。

### イベント制作力の向上

当社は、年間を通じてさまざまな研修を行っておりますが、ここ数年は、全社員を対象とし、「イベント制作力」にフォーカスした研修を行っています。研修では外部講師をお招きし、イベント企画の基礎となる情報収集からアイデアの見つけ方、企画の組み立てなど、実践的なグループワークを交えて学んでおります。こうした研修を通じて1人でも多くの「イベント・ソリューション・プレーヤー」を育て、お客さまのイベント成功に向けて取り組んでまいります。

企画コンペ勝率

61.2%

昨年比 +11.2ポイント

### ベストプラクティスの共有

当社は、顧客起点を実践する現場力の高い企業に成長するため、社内発表会の「イベント・ソリューション事例共有／発表会」を開催し、社内での情報共有の活性化を進め、プレゼン力や提案力の向上を図っております。昨年は、年間1万3000件のお手伝いさせていただいたイベントの中より、120件の事例の共有化が図られました。4年目になる今年は、より多くの良い事例の共有化を進め、1人でも多くの社員がお客さまのあらゆる課題の解決を行い、イベントに期待される効果が実現できるように取り組んでまいります。

事例応募件数

120件

### 安全・安心の確保

当社は、総合イベント企業として、イベントで最も重要である「安全」を確保するため、協力会社さまと一丸となり、安全に取り組んでおります。2015年度の「安全・品質向上推進大会」には協力会社64社、約100人の方にご参加いただきました。大会ではセレスポの安全確保への姿勢と取り組みを説明し、安全重点項目を確認するとともに、協力会社さまによる安全講習も行っております。また、近年需要の高まっております情報管理について、2015年度は「事務局業務」をテーマに業務の担当社員を中心に研修を行い、業務におけるリスクを洗い出し、リスク対策について学びました。お客さまが安心してイベントに臨めるよう、継続的にスキルアップに努めてまいります。

事故件数

48.2%

減少

2014年度 58件  
2015年度 30件

### 教育・研修制度の整備

当社は、職種や職層に応じた研修プログラムに加え、国内外の大型イベント視察や社会テーマに沿った報告会を集合研修として行っております。また、外部の教育研修制度を活用することで、業務内容に沿った研修を社員が自身の業務スケジュールに合わせて受講できる環境を整えております。イベントという幅広い業務に携わっていくためには、社員の志向に沿った成長も重要であると考えています。社員には現在の業務内容に関わらず、広く社会人としての資質の向上に寄与する自発的な活動を推奨しており、資格取得やセミナー参加等に対する援助をしています。

### 気持ちの良い職場づくり

当社は、数年前より「ふつうのよい会社」という指針を掲げ、社員に合った職場環境の整備やメンタルヘルスの向上などさまざまな施策を進めてまいりました。2016年3月には地元豊島区のワーク・ライフ・バランス推進企業にも認定されました。セレスポの幸福の理念に基づき、今後も社員の幸福を向上させるよう取り組んでまいります。

### 女性の活躍推進

当社は、女性が長く活躍しながら働き続けられる環境を整備するため、3年前にJP（女子パワー）プロジェクトを立ち上げ、①ライフステージサポート②キャリアサイクル③ワークコミュニケーションの3つの推進計画に沿って女性社員の働き方についてサポートしております。自身のキャリアプランを見える化させた「キャリアサイクルノート」や、社内のお手本となる女性社員や働くママさんへのインタビューなど、女性が安心して働ける雰囲気づくりにも注力しております。2016年4月には女性活躍推進法も施行され、女性の働き方への注目は更に増しております。当社では、今後も社員の幸福実現に向けて、ダイバーシティの推進に取り組んでまいります。

1人当たり  
年間研修参加回数

4.6回

2015年度の離職率

2.7%

10年前比 -5.7%

2018年までの  
女性管理職比率

対2015年目標

120%

## サステナビリティへの取り組み

### サステナビリティ方針

セレスポは、社会的・環境的・経済的にネガティブな影響を最小化する方法で組織運営およびイベント制作に取り組んでいきます。セレスポが持続的な成長を遂げることにより、長期的に見て社会的・環境的・経済的にポジティブな影響を拡大していきます。これにより、イベントに関する持続可能性の分野において、リーダーシップを発揮していくことを確約します。

### ISO20121に基づく取り組み

当社は、自らがサステナブルな組織として成長していくために、ISO20121に基づき、課題への取り組みや社員教育を行っています。「ISO20121」とは、イベントに関するサステナビリティ(持続可能性)に取り組むことを目的とした国際標準規格のことです。ロンドンオリンピック・パラリンピック、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックをはじめ、世界各国の主催者、制作者が活用しています。2020年に向けてスポーツ界のみならずイベントに関わる全ての関係者は、サステナビリティへの正しい理解と実践を進めていくことが急務となっています。当社は2016年1月に社内プロジェクトを立ち上げ、全社一丸となってサステナビリティの理解と取り組みを進めております。



### エコ資材の活用

当社ではイベントで使用される資材においても、環境に配慮した資材を採用しております。古紙・粉殻を混入することにより燃焼時のCO2発生が66.6%削減できるエコポリ袋の使用や同じ素材を使用したテーブルクロス、椅子やカーペットのリサイクル、石膏ボードをリサイクルした運動会用のライン引き粉などさまざまなエコ資材を取り入れております。サステナブルなイベントの実現に向け、今後も環境に配慮した取り組みを続けてまいります。



### Positive Impact 日本事務局セミナー

2015年10月19日(月)に虎ノ門ヒルズフォーラムで「Positive Impact日本事務局 設立1周年記念セミナー」が開催され、サステナビリティに関心のある約40人のイベント関係者が参加しました。今回のセミナーは「ステークホルダーエンゲージメント」をテーマとしており、Positive Impactの代表であるFiona Pelham氏が世界各地で行っているセミナーとワークショップを直接体験できる機会となりました。日本事務局としても今後は定期的にワークショップを開催し、サステナビリティに関心を持つ方を1人でも多く増やし、巻き込んでいけるよう努めてまいります。



## ユニバーサルなイベントの実現

セレスポは、誰もが当たり前、安心して来場し、安全・快適に過ごしていただけるイベントづくりに取り組んでいます。長年培ってきたイベント制作ノウハウに加え各分野のエキスパートと連携し、イベントの企画提案・デザイン設計・会場設営・実施・運営までトータルにサポートします。

### ユニバーサルなイベント実現に向けた取り組み

当社では1999年のバリアフリーライフ研究所の設立以来、誰もが当たり前、安心して来場し、安全・快適に過ごしていただけるイベントづくりに取り組んできました。2014年、バリアフリーライフ研究所は時代や社会の変容にあわせ、より多様性に向けたサービスの提供を目指すために名称をユニバーサルイベント研究所に変更。長年培ってきたハード・ソフト両面のイベント制作ノウハウに加えて、各分野のエキスパートと連携したイベントの企画提案・デザイン設計・会場構成・設営・実施・運営などトータルにサポートしています。さらに、社員教育の一環として開催する社内セミナーにおいては協力会社さまからも参加をいただき、この取り組みに対するご理解とご協力のもと一丸となったサービスの向上を目指しています。セミナーでは有識者や専門家による基礎的な講義のほか、群馬物流センターにある大型倉庫内に模擬イベント会場を再現し、参加者自らが車いすに乗って「車いす目線のイベント」を体験するセミナーも開催し、実際に体験しなければ得られない気づきに加えて、障がい当事者でもある講師から直接、意見やアドバイスを得て知識と経験の向上を図っています。セレスポはこれからも、より安心・安全・快適の追求に努めていきます。



**今日からできる  
やさしい一声**

こんな場面を見かけたら

- ・視覚に障がいのある方が駅や道などで困っている
- ・車いす利用者やベビーカー利用者が階段や段差の前で困っている
- ・高齢者が道を渡れずに困っている

1 何かお手伝い  
しましょうか?

まずは一声 かけてみよう

2 どうすれば  
いいですか?

最高のサポート方法は  
本人が教えてくれます

自分ひとりではむずかしい時...

3 一緒にご協力をお願い出来ますか?

1人で無理をせず周囲に協力を求めましょう

私たちはユニバーサルイベントを推進しています。困っている障がいの高齢者・障がい者・妊婦などを見かけたら、率先して声をかけましょう。  
株式会社セレスポ

当社は、ユニバーサルイベントを推進する企業として、社員が今日からできる心がけを「声かけポスター」としてまとめ、社員による「心のバリアフリー」の推進に努めております。

### ガイドサポートセンター

当社では、より多くの方にイベントを楽しんでいただくためにイベント会場においてガイドサポートセンターを実施しています。小さなお子さま連れの方、高齢者やお身体に障がいのある方などにも安心してご来場いただけるように、ハード・ソフトの両面でサポートを行っています。

ガイドサポートセンターの主なサービス	
■ベビーカーお預かり	■おむつ交換所・授乳室
■コミュニケーションボード	■スタッフによるサポート など



## スポーツ振興

セレスポは、アスリートの支援および競技団体への協賛を通じてスポーツ界の発展に寄与するとともに、スポーツによるコミュニケーションを通じて地域振興の支援をすることで、笑顔のある明るい社会づくりに貢献しています。

### オールキッズトライアスロン

スポーツ振興支援の一環として2015年9月13日(日)に開催された「2015オールキッズトライアスロン大会」において、競技運営および競技資材の協賛を行いました。この大会には、小学1年生から中学3年生までのトライアスリートが全国から約500人参加し、白熱したレースを繰り広げました。2020年に向けて、一人でも多くの子供たちが競技の魅力を知り、スポーツを楽しめる機会を今後も支援していきます。



### セレスポ陸上クリニック

子供たちへのスポーツ普及活動の一環として、藤沢沙也加選手の母校、滝沢市立滝沢南中学校の体育の授業時間をお借りし、走ることや体を動かす楽しさを実感してもらうべく「セレスポ陸上クリニック」を開催いたしました。当日は同じくセレスポ陸上部に所属する真下まなみ、中村真悠子両選手も参加し、中学2年生およそ240人を対象に授業を行いました。卒業生である藤沢選手との対決やクラス対抗戦など短い時間ではありましたが、子供たちがスポーツに取り組むきっかけをつくれたと思います。



### 平成27年度東京都スポーツ推進企業に認定

当社は、スポーツイベントに携わる企業として、「社内クラブ活動の推進」「陸上部の創設と社員の応援」「各種競技団体への支援」など会社全体でスポーツ推進に取り組んでまいりました。特に2015年4月より行っている「日本パラ陸上競技連盟への支援」が他社にはない取り組みとして評価され、東京都オリンピック・パラリンピック準備局より「平成27年度東京都スポーツ推進企業」に認定されました。

「東京都スポーツ推進企業」とは従業員のスポーツ活動の促進に向けて優れた取り組みやスポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定し広く都民に周知することで、企業におけるスポーツ活動を推進するとともに、スポーツに対する社会的気運の醸成を図り、2020年に向けて「スポーツ都市東京」を実現することを目的としています。(東京都スポーツ推進企業 募集要項より)



### 陸上部 (2016年7月1日現在)

当社は、国が推進するスポーツ振興の取り組みに賛同し、陸上競技において今後の大きな可能性を秘めた陸上選手の育成・強化と夢の実現を応援することを目的として、2013年に陸上部を設立いたしました。所属競技選手の強化・育成への積極的な支援を通じ、日本陸上競技界のさらなる発展、ならびに地域社会のさまざまな分野における貢献活動に取り組んでまいります。

#### 選手紹介

##### 藤沢 沙也加

入社年	2013年
出身地	岩手県
所属部署	人事総務部
種目	100m、200m、400m

主な出場大会記録

開催日	大会名	場所	種目	順位	タイム
2016年6月25日	第100回 日本陸上競技選手権大会	愛知	200m	—	24秒54
2016年6月24日	第100回 日本陸上競技選手権大会	愛知	400m	—	55秒07
2016年2月20日	2016Adelaid Track Classic	オーストラリア	400m	4位	55秒96

##### 真下 まなみ

入社年	2014年
出身地	埼玉県
所属部署	経理部
種目	800m

主な出場大会記録

開催日	大会名	場所	種目	順位	タイム
2016年6月25日	第100回 日本陸上競技選手権大会	愛知	800m	—	2分18秒31
2016年5月22日	第58回東日本実業団陸上競技選手権大会	埼玉	800m	4位	2分10秒57
2016年2月13日	2016Porritt Classic	ニュージーランド	800m	4位	2分12秒50

##### 中村 真悠子

入社年	2015年
出身地	静岡県
所属部署	コーポレートデザイン室
種目	3000mSC(障害) 1500m

主な出場大会記録

開催日	大会名	場所	種目	順位	タイム
2016年5月21日	第58回東日本実業団陸上競技選手権大会	埼玉	1500m	—	4分38秒22
2015年5月8日	Oregon Twilight	アメリカ	1500m	12位	4分26秒36
2015年4月26日	第63回兵庫リレーカーニバル	兵庫	3000mSC	6位	10分44秒66

### スポンサーシップ (2016年7月1日現在)

当社は、イベントを通じて、笑顔のある明るい社会づくりに貢献するために、下記団体とのスポンサーシップを結び、さまざまな活動に取り組んでまいります。



## コーポレート・ガバナンス

当社は、企業経営の透明性・公平性を確保したうえで迅速かつ機動的な意思決定を行うことができる経営管理体制の構築を重要な課題として認識し、コーポレート・ガバナンスの充実に努めております。

### コーポレート・ガバナンス体制について

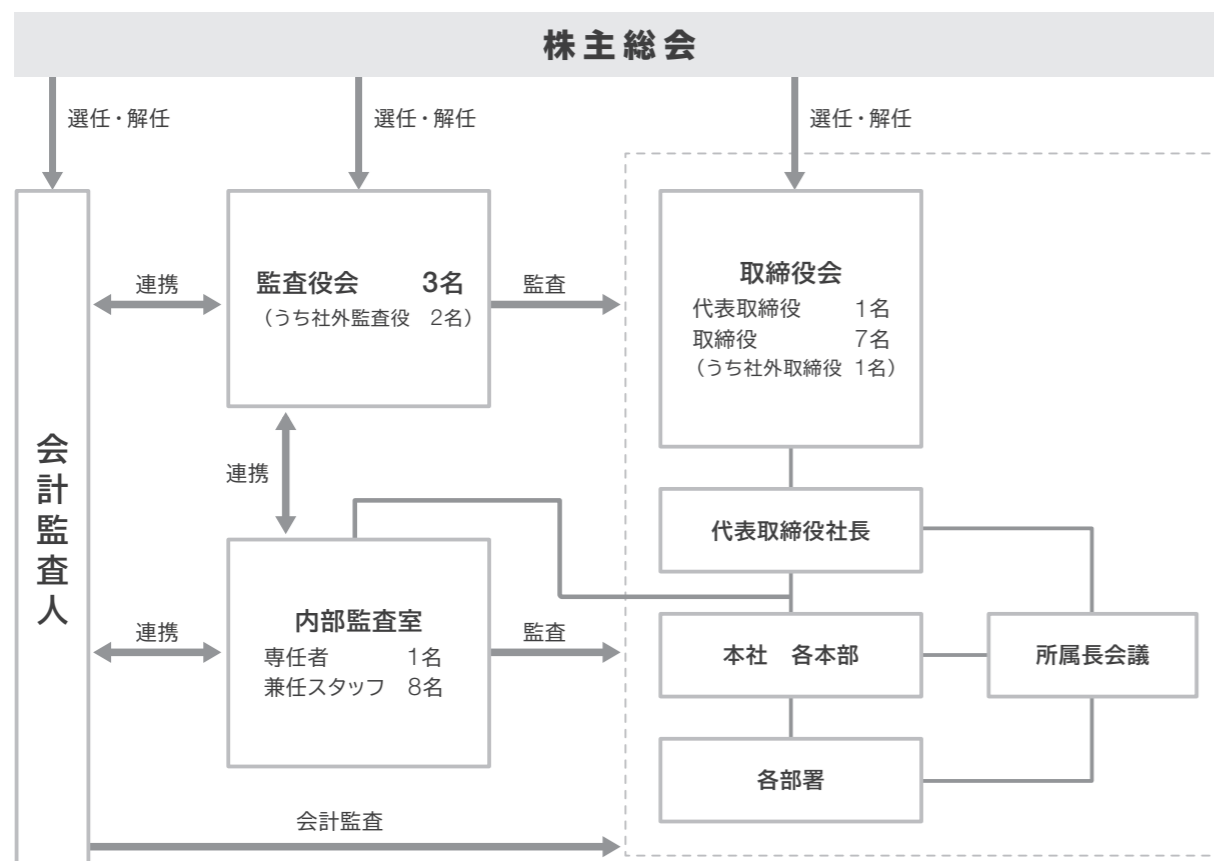
当社は監査役体制を採用しており、2016年7月1日現在の経営体制は取締役8名（うち1名は社外取締役）および監査役3名（うち2名は社外監査役）にて構成されています。

取締役会は月1回以上開催し、当社の重要事項についての審議、意思決定を行っています。さらに、取締役会への上程に先立って検討する機関として、代表取締役・担当取締役・監査役および本社各部門で構成される本会議を月1回開催しています。

また、執行を徹底するために、代表取締役・担当取締役および本社各部門ならびに各部署の責任者で構成される所属長会議を月1回開催し、各部門の業務執行状況の管理、部門間での情報共有ならびに相互チェックを実施しています。

なお、取締役候補および監査役候補者の選任は取締役会で行い、監査役候補者については監査役会の同意を得たうえで、定時株主総会にて承認をいただいています。また、取締役および監査役の報酬は、定時株主総会で承認された上限枠をもとに、取締役会および監査役会にて決定されています。

### コーポレート・ガバナンス体制図



### 社外取締役メッセージ

## セレスポの潜在力を存分に発揮できるように、 将来の成長に向けた体制・環境づくりに貢献します

社外取締役 野末 正博

### セレスポの魅力、強み

私は昨年6月、社外取締役に就任しました。当社では、どこにいても「顧客の幸福、取引先の幸福、株主の幸福、社員の幸福、そして社会の幸福」でつながる『セレスポの幸福』マングラを目にします。この企業理念に基づいて行動し、「主催者の心に寄り添って一緒にイベントを作りあげ、笑顔があふれる明るい社会づくりに貢献する」という社員の意志と粘り強い行動力が当社の魅力であり、強みでも感じています。長期ビジョンを見据えた中期経営計画Ⅲの目標は「事業領域の拡大と企業力の強化」ですが、そのためには業務構造改革が不可欠です。昨年、新入社員が職場改善に関する提案を行い、先輩たちと一丸になって取り組み、成果を挙げているという報告を聞きました。イベントを顧客起点で企画から設営まで一貫してやり遂げるには、チームで発揮される力こそが鍵となります。当社には創業当初から「全員でやりきる」という社風があり、「主催者の不安を最後の一つまで取り除き、確実にやり終える」ということが徹底されていると感じています。また近年、社員のこうした資質に加えて、自分で考え、行動し、改善する自走心を磨き取り組みを進めており、切磋琢磨してチームのポテンシャルをより高く発揮することを期待しています。

### 企業価値の向上に向けて

バーチャルな世界が広がりをみせる中で、ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピック等のゴールデン・ス

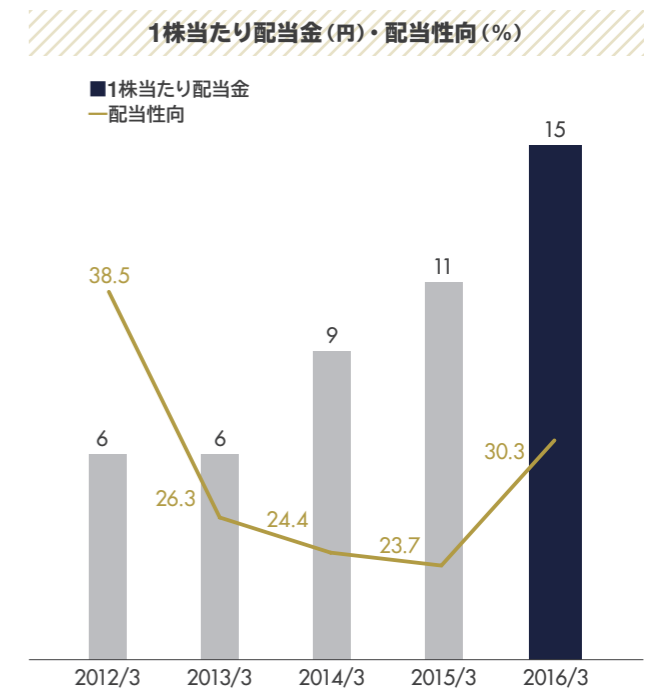
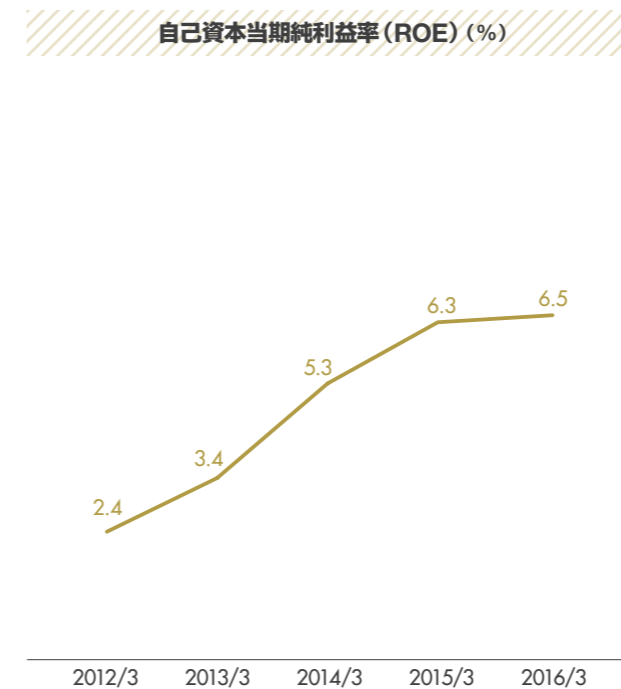
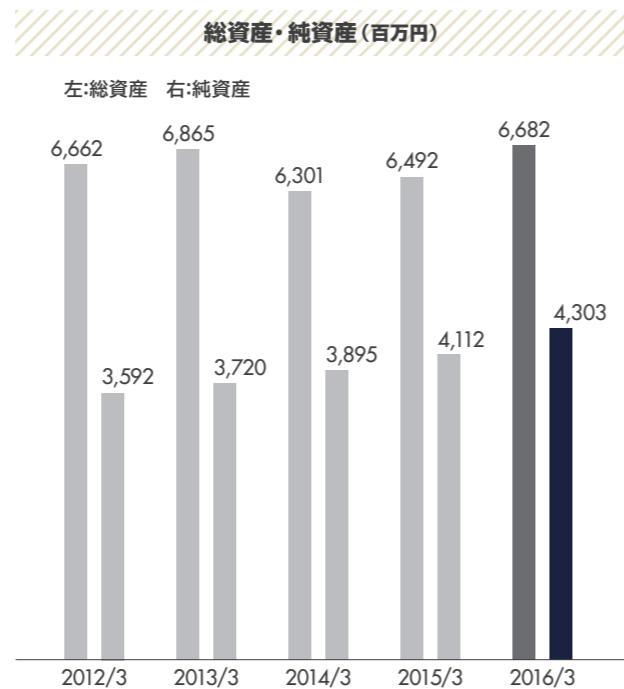
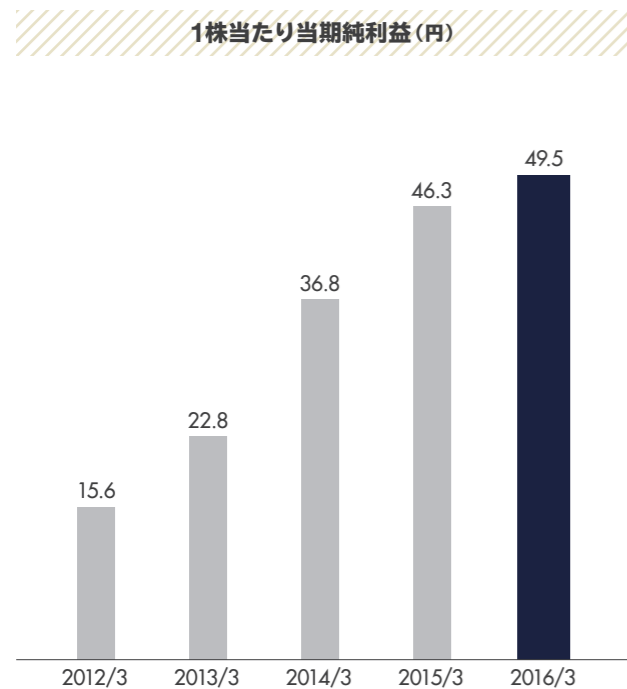
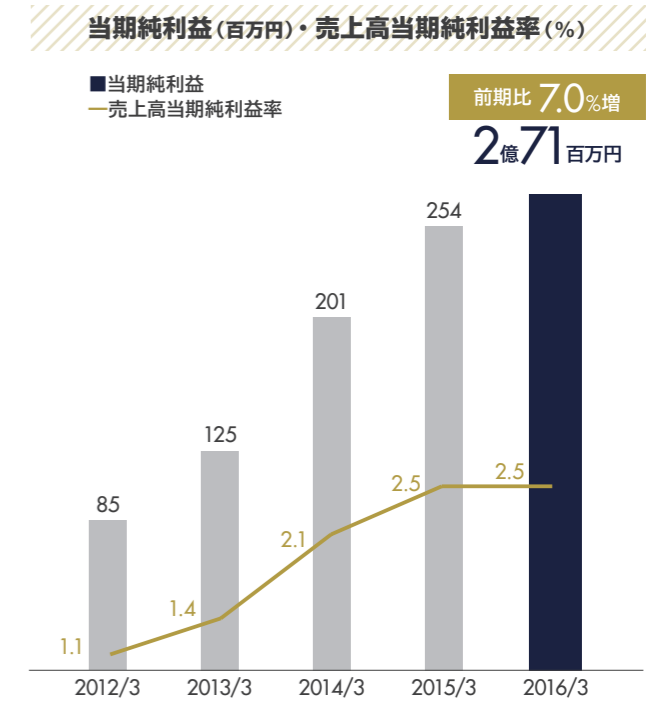
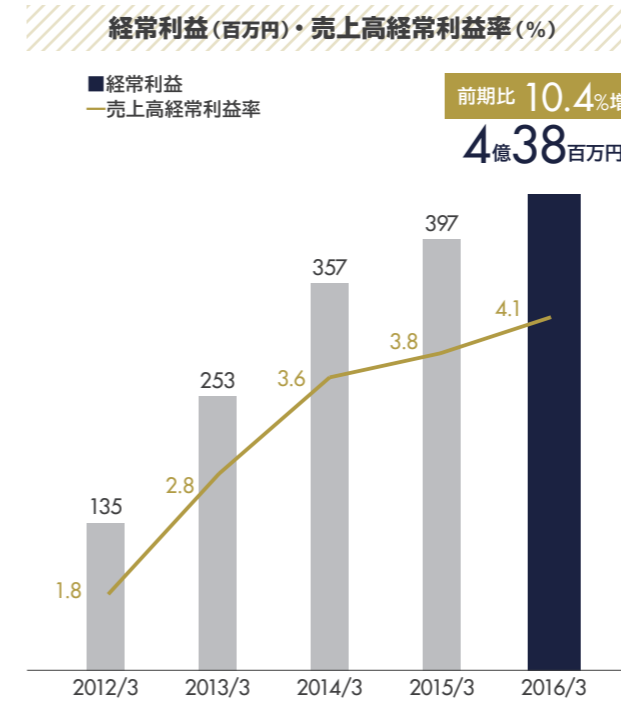
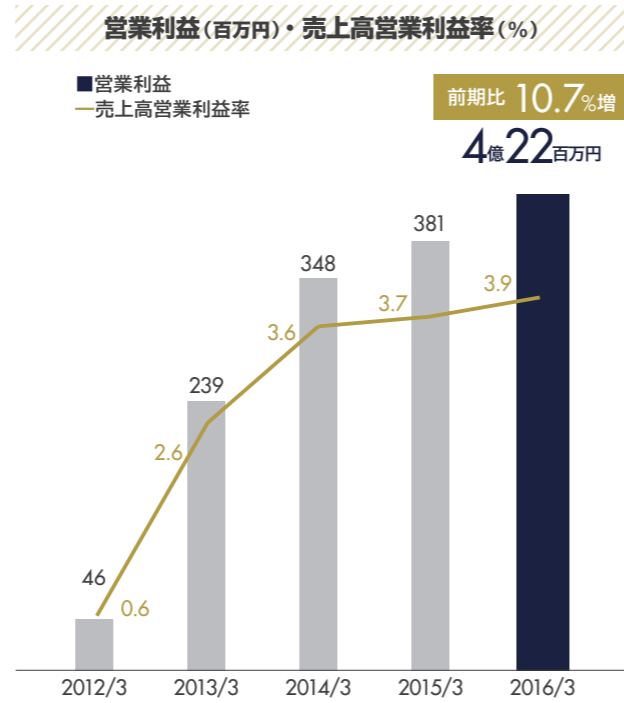
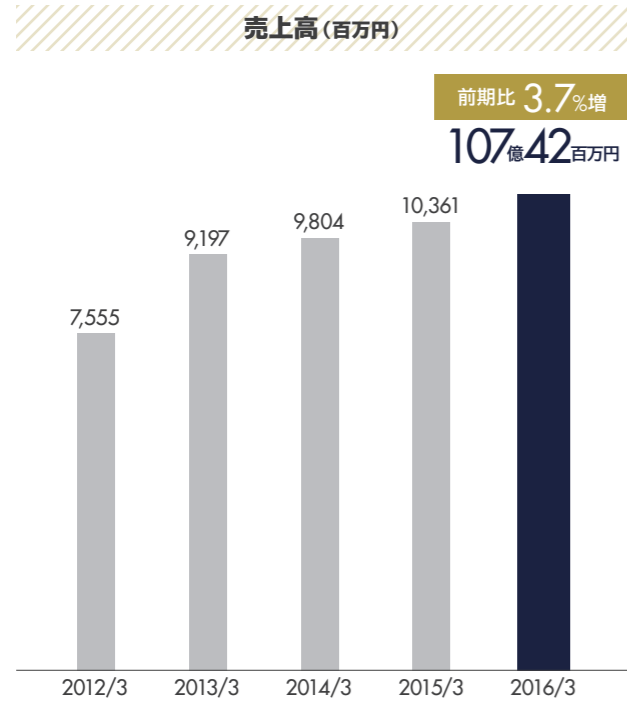
ポーツイヤーズに向かって、観光客誘致、地方創生等の活動が活発になり内外のお客さまが増えています。「一期一会」のリアルな集いの場をより豊かな交流の場に演出する役割がイベントに期待されています。

当社は、人種、宗教、生活習慣等の多様な方々の集うイベントのユニバーサル化とサステナビリティに早くから取り組んでいますが、イベント運営におけるダイバーシティ、レガシーへの取り組みは世代を超えた地域ぐるみのCSV（Creating Shared Value：共通価値の創造）の活動を惹き起こす可能性を秘めていると考えています。

こうした先進的な取り組みは、明確な企業理念と行動規範のもとで確実に実行しながら長期ビジョンを実現するという経営の強い意志によって持続し成果を上げるものだと思います。新たな挑戦と場づくりの実績とが相俟った活動の中で築いていく信頼が企業価値を高めるものと期待しています。

### 社外取締役としての役割・ミッション

社外取締役の役割は「セレスポの幸福」という経営理念のもとに、株主の皆さまからの資金を有効に使い、イベントを通じて元気な社会づくりに貢献しながら長期的に事業を成長させ、企業価値を高めていくパイロット役だと考えています。当社の潜在力を磨き将来の成長に向けた体制と環境を整えるべく、これまでの企業や投資機関等での経営の経験を生かして、効果的なコーポレートガバナンスの整備・運用と効率的な執行に取り組んでいきたいと思っています。



2016年3月期決算のポイント

**1 5期連続の増収増益の実現**  
ここ数年取り組んできた営業力の向上および認知度の向上が実を結び、売上高においては中期経営計画Ⅲの当初計画を達成しました。

**2 営業利益率の向上**  
付加価値提案の推進および不採算案件を見直していくことで、利益体質への改善を進めることができました。

**3 年間配当15円**  
業績および財務状況等検討した結果、当初予想11円に4円を加え年間配当15円としました。

会社概要 (2016年3月31日現在)

商号	株式会社セレスポ 英文社名: CERESPO CO.,LTD.
証券コード	9625
本社	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5 TEL:03(5974)1111/FAX:03(5394)7651
設立年月日	1977年7月21日
資本金	13億7,067万円
売上高	107億4,268万円
事業内容	1 イベント、プロモーション、スポーツ大会、式典、レクリエーションの企画、制作、会場設営、運営および進行 2 上記に関わる物品・什器備品の企画、開発、製造、販売およびレンタル 3 土木ならびに建築の設計監理および施工 4 警備業 5 特定人材派遣業 6 上記に付帯する一切の業務
登録・許可	建設業許可: 東京都知事 許可(特)第140322号 一級建築士事務所: 東京都知事登録 第42544号 警備業認定: 東京都公安委員会 第30003046号 屋外広告業登録: 東京都屋外広告業登録 都広(1)第1137号 プライバシーマーク: 第17000187号
従業員数	376名

役員一覧 (2016年7月1日現在)

代表取締役社長	稲葉 利彦
専務取締役	田代 剛
専務取締役	岡本 敦哉
常務取締役	鎌田 義次
取締役	宮田 一哉
取締役	堀貫 貴司
取締役	生田 茂
取締役(社外)	野末 正博
常勤監査役(社外)	星野 俊司
監査役(社外)	服部 訓子
監査役	水越 潤
執行役員	松田 英彦
執行役員	本橋 泰治
執行役員	齊藤 信行
名誉会長	三木 征一郎

株式情報 (2016年3月31日現在)

株式の状況		
発行可能株式総数	22,000,000株	
発行済株式総数	5,703,500株	
株主数	822名	
大株主		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社スマイル	1,100	20.07
セレスポ従業員持株会	560	10.22
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	483	8.81
日本証券金融株式会社	157	2.86
三木 征一郎	155	2.84
稲葉 利彦	100	1.82
衣笠 純	94	1.73
北原 美子	94	1.73
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	94	1.72
株式会社東和銀行	72	1.31

(注) 1. 当社は、自己株式を222,611株保有しておりますが、上記株主からは除外しております。 2. 持株比率は、自己株式を控除して算出してあります。

拠点所在地 (2016年7月1日現在)



営業拠点一覧 (2016年7月1日現在)

本社	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5	TEL:03(5974)1111
札幌支店	〒003-0809 北海道札幌市白石区菊水9条3丁目5-13	TEL:011(821)1810
岩手営業所	〒023-0898 岩手県奥州市水沢区後田16-4	TEL:0197(51)8020
仙台支店	〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町1-3-17	TEL:022(782)0161
福島支店	〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字勝木沢23-1	TEL:024(935)2233
群馬支店	〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1073-36	TEL:027(265)4211
指定管理者事業推進室	〒321-1261 栃木県日光市今市719番地1	TEL:0288(25)7771
大宮ソニックオフィス	〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 大宮ソニックシティB1F	TEL:048(647)4112
さいたま支店	〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤7-1-1 大黒屋オフィスビル4F	TEL:048(825)3271
ゴルフトーナメントオフィス	〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井578-1	TEL:049(259)2631
建設式典事業部 埼玉事業所	〒339-0078 埼玉県さいたま市岩槻区大字掛563-1	TEL:048(758)3722
千葉支店	〒264-0017 千葉県千葉市若葉区加曾利町852-2	TEL:043(214)8448
東京支店	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-20-7 未広ビル3F	TEL:03(5974)5555
SP・PRイベントオフィス	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-20-7 未広ビル3F	TEL:03(5974)1190
建設式典事業部 東京事業所	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5	TEL:03(5974)1122
スポーツ事業推進室	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5	TEL:03(5974)1135
コンベンション推進室	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5	TEL:03(5974)1130
生涯スポーツ推進室	〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5	TEL:03(5974)1113
西東京支店	〒186-0012 東京都国立市泉1-4-4	TEL:042(574)3020
横浜支店	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-2-6 新横浜ビジネスセンタービル9階	TEL:045(473)2555
建設式典事業部 横浜事業所	〒222-0002 神奈川県横浜市港北区師岡町972	TEL:045(633)5111
厚木支店	〒243-0032 神奈川県厚木市恩名1-6-59 OMビル4-A	TEL:046(222)3551
岐阜支店	〒500-8268 岐阜県岐阜市茜部菱野2-2 服部第2ビル2F南	TEL:058(274)4112
名古屋支店	〒463-0034 愛知県名古屋市中区四軒家2-303	TEL:052(771)7510
豊田営業所	〒471-0868 愛知県豊田市神田町1-1-1 西山地産ビル6F	TEL:0565(37)3558
大阪支店	〒559-0011 大阪府大阪市住之江区北加賀屋3-1-30	TEL:06(6682)8711
神戸営業所	〒650-0036 兵庫県神戸市中央区播磨町49 神戸旧居留地平和ビル9F	TEL:078(335)2711
山口営業所	〒753-0083 山口県山口市後河原35-1 ウツズプラザ1-2F	TEL:083(920)8477
高松支店	〒761-0450 香川県高松市三谷町5076-2	TEL:087(888)1009
愛媛営業所	〒790-0066 愛媛県松山市宮田町188-8 グランディア宮田209号室	TEL:089(915)5570
福岡支店	〒813-0035 福岡県福岡市東区松崎2-24-12	TEL:092(663)5550